

赤平市小・中学校 学力状況のおしらせ

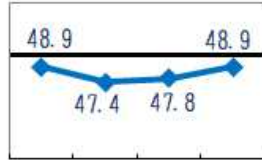
赤平市教育委員会
令和元年10月

1 標準学力検査について

4月に実施した標準学力検査(NRT)の結果を教科別、学年別にお知らせします。次のグラフは全国平均(太線)を「50」とし、本市の状況について、数年間の推移とともに掲載したものです。

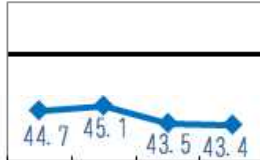
国語

中3 国語



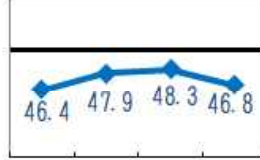
小5時 小6時 中1時 中2時

中2 国語



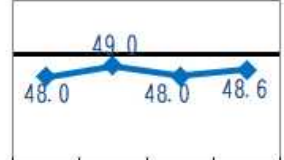
小5時 小6時 中1時 中2時

中1 国語



小4時 小5時 小6時 中1時

小6 国語



小3時 小4時 小5時 小6時

小5 国語



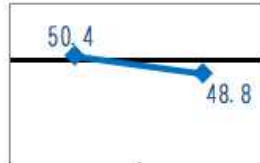
小2時 小3時 小4時 小5時

小4 国語



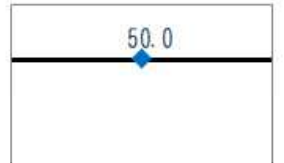
小2時 小3時 小4時

小3 国語



小2時 小3時

小2 国語



小2時

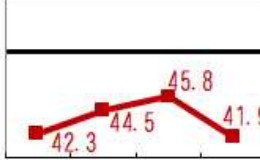
算数

中3 算数



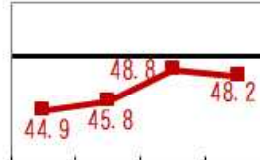
小5時 小6時 中1時 中2時

中2 算数



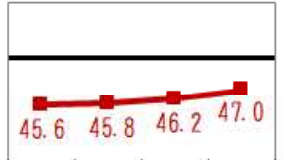
小5時 小6時 中1時 中2時

中1 算数



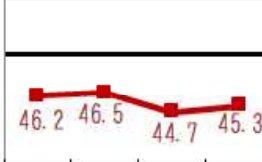
小4時 小5時 小6時 中1時

小6 算数



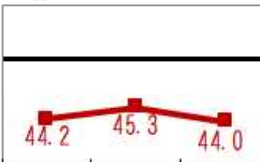
小3時 小4時 小5時 小6時

小5 算数



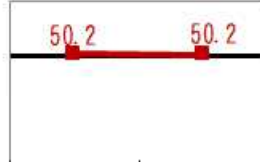
小2時 小3時 小4時 小5時

小4 算数



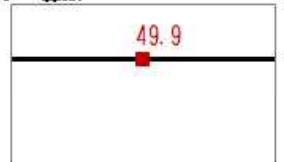
小2時 小3時 小4時

小3 算数



小2時 小3時

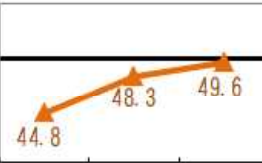
小2 算数



小2時

社会

中3 社会



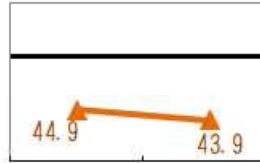
中1時 中2時 中3時

中2 社会



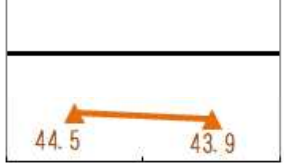
中1時 中2時

中1 社会



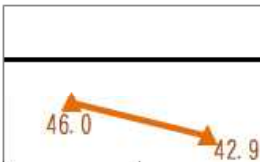
小6時 中1時

小6 社会



小5時 小6時

小5 社会



小4時 小5時

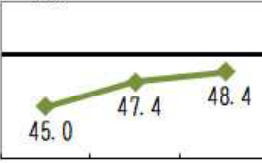
小4 社会



小4時

理科

中3 理科



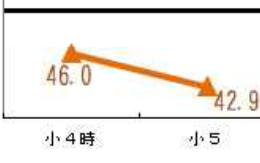
中1時 中2時 中3時

中2 理科



中1時 中2時

中1 理科



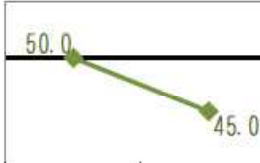
小6時 中1時

小6 理科



小5時 小6時

小5 理科



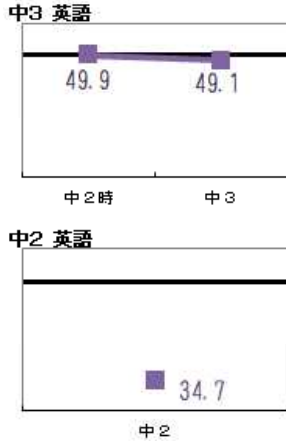
小4時 小5時

小4 理科



小4時

英語



【主な傾向】

国語

小学校第4学年以上のすべての学年で全国平均を下回っているが、小学校第4・5・6学年、中学校第3学年など、前年度を上回る学年も多く、各学校の改善策の積み重ねの成果があらわれてきている。

算数・数学

小学校第4学年以上すべての学年で全国平均を下回っているが、小学校第5・6学年においては、改善の傾向が見られており、全国平均との差も縮まりつつある。

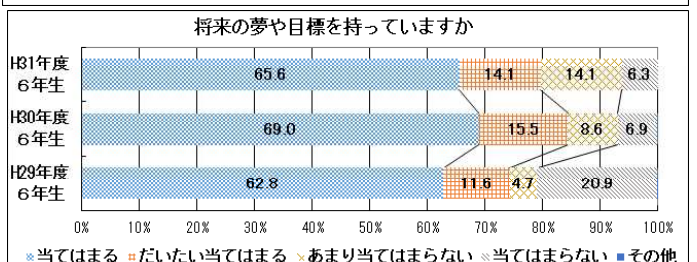
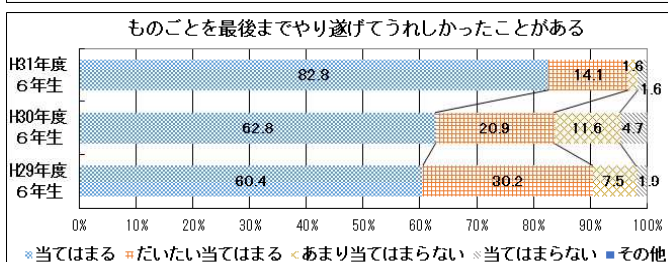
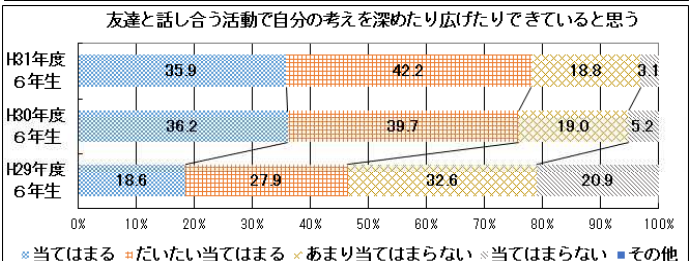
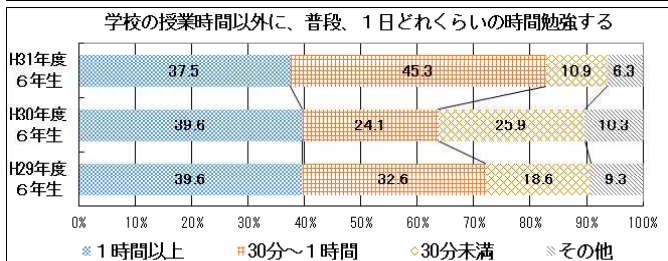
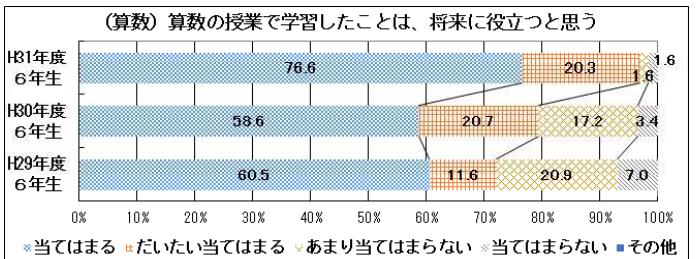
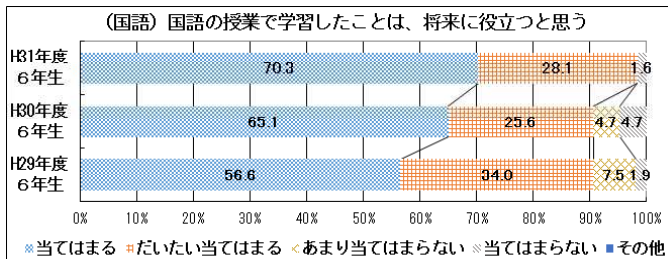
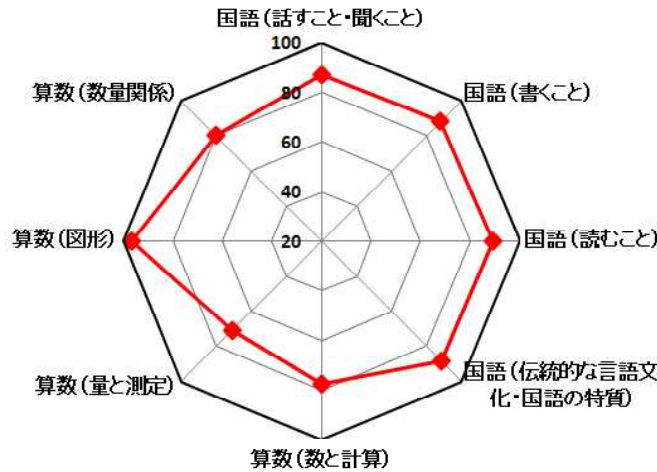
社会・理科

昨年度から実施された小学校4年生以上の「社会・理科」であるが、中3を除くすべての学年で前年度を下回っている。

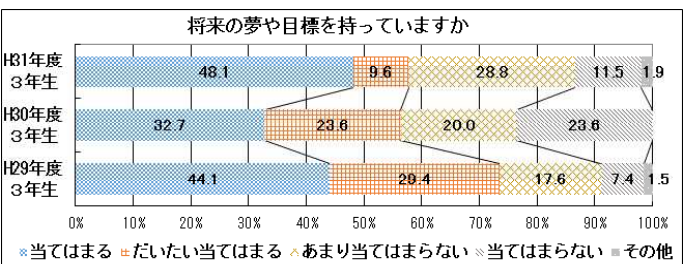
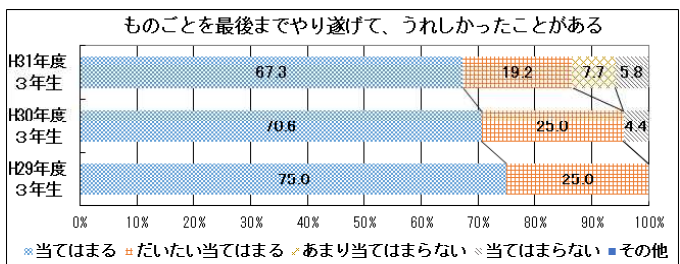
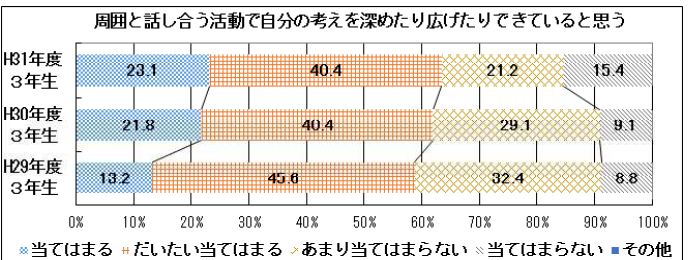
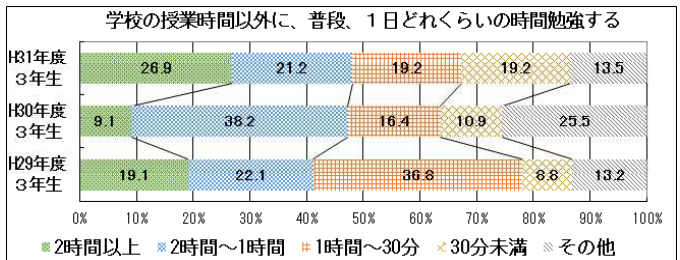
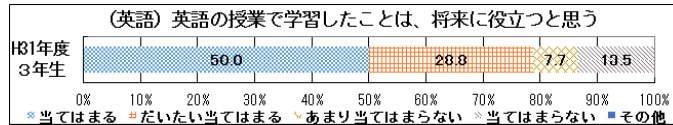
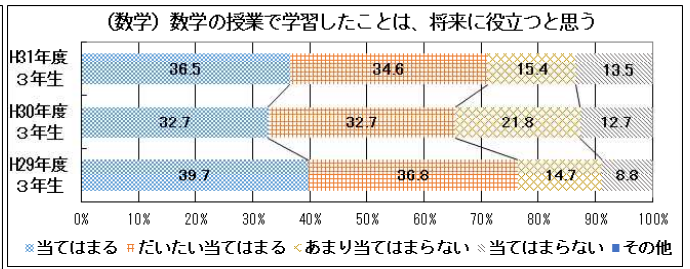
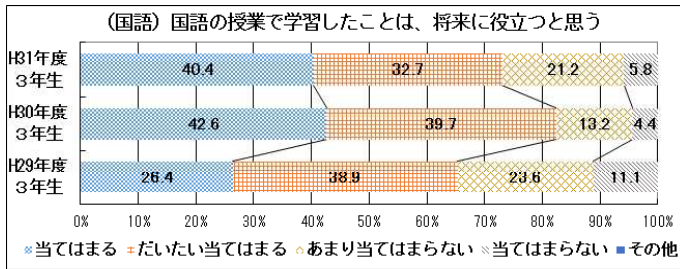
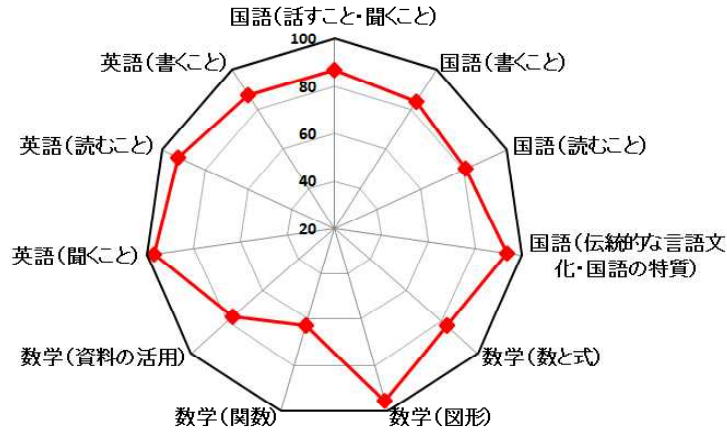
2 全国学力・学習状況調査について

4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果から主なものをお知らせします。今年度の調査から基本問題(A問題)と活用問題(B問題)の区別がなくなり、実施されました。調査の教科は、小学校6年生が国語と算数で、中学校3年生は国語、数学、英語での実施となり、その結果を全国平均を「100」として、レーダーチャートで掲載しました。また、児童・生徒質問紙調査の結果の主なものを帯グラフで掲載しました。

小学校



中学校



【主な傾向】

小学校

- 国語・算数ともにすべての分野で全国平均を下回っているが、算数では、「図形」が全国平均に最も近くなっている。
- 国語・算数とも、「授業で学習したことは将来に役立つと思う」と回答する割合が増加している。
- 家庭学習の時間は概ね増加傾向にあるが、学年の段階に応じた学習時間・内容としていくことが課題である。
- 「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童の割合は65.6%で、全国と同程度である。また、「ものごとを最後までやり遂げてうれしかった」と回答した割合は82.8%で、全国を約13ポイント上回っている。

中学校

- 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国平均値に近づいており、同様に数学では「図形」分野で、英語では「聞くこと」の項目で高い値が見られる。
- 「英語の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。
- 生徒に対して「将来就きたい仕事や夢」について考えさせる指導が、上記の結果につながったといえる。
- 家庭学習の定着や継続した取組が、引き続き課題となっている。

3 改善に向けた実践策の主なもの

4月に実施された検査結果や日常の学習状況を踏まえて、各学校では自校の学力改善を少しでも前に進めるため、具体的な取組を進めています。結果はすぐに表れるものではありませんので、学校ごとの実践策は現在進行中です。各学校の実践中のものから、その主なものを掲載します。

【授業や繰り返し学習の工夫】

- 全国学力・学習状況調査の分析ツールの活用により実態を正確に捉え、誤答の多かった問題の解き直しを丁寧に複数回行っている。
- 標準学力検査や全国学力・学習状況調査の結果を連動させた分析と改善策の実施を組織的に進めることにより、全校をあげて学力改善に取り組む姿勢を強化している。
- 単元テストや北海道教育委員会のチャレンジテストに丁寧に取り組んでいる。
- 毎時間の授業の序盤において、「何を学ぶのか」を明確にした学習目標を提示して、学習の見通しと意欲の高揚につながる授業づくりに努めている。
- 毎時間の授業の終盤において、「何が身についたか」を確かめるため、授業を振り返る場面を大切に授業づくりを進めている。
- 「ノートには丁寧に書く」、「人の話は最後までしっかり聞く」のような学習規律を全学年で統一し、その徹底を図りながら学びの質を高める努力を続けている。
- ティーム・ティーチング(TT)や習熟度別少人数指導の良さを生かし、理解度や定着度を高める授業づくりを進めている。
- 学習内容の不十分な定着を克服するため、学年ごとの目標を設定した上で、プリント学習や問題集に取り組み、解答する力の育成を目指している。(速く、正確に)
- 放課後学習を活用して、朝学習の復習や算数の文章問題に取り組んでいる。

【家庭学習の改善・充実】

- 家庭学習の手引きの内容を簡潔で具体的なものに改訂し、主体的に取り組む家庭学習を、そして家族が関心が高める家庭学習を積極的に奨励している。
- 小中連携により、市内一斉の「家庭学習強調週間」を設定して、保護者や子どもたちを含めて、家庭学習の大切さを再確認する機会を新たに設けて進めている。
- 「ノーゲームデイ」の取り決めなど、家庭での生活リズムが家庭学習を無理なく位置づけたものになるよう、家庭での協力依頼を進めている。

4 教育委員会としての学力向上に係る支援策の主なもの

- 子どもたちの学力の状況を判断する検査として、標準学力検査を市費で実施し、各学校の学力改善に向けた教育実践が、「どの程度成果に結びついているか」について、情報を提供している。
- 標準学力検査の教科は、小2～小3「国語・算数」、小4～小6「国語・算数・社会・理科」、中1「国語・数学・社会・理科」、中2～中3「国語・数学・社会・理科・英語」を実施している。
- 北海道教育委員会と連携して義務教育指導班の指導主事を派遣してもらい、よりよい授業に一步一步近づくことができるよう、具体的なアドバイスを通して各学校の研修を支援している。
- 小5を対象に「漢字検定または算数検定」の助成、中2を対象に「英語検定」の助成を実施し、学習意欲の高揚を図っている。
- 学校移動図書館や読書週間の朗読会を通して、読書を奨励する環境を整えている。
- 小学生を対象に、豊里児童センター、文京児童館、茂尻児童館において「子ども塾」を、中学生を対象に、交流センターみらいにおいて「公設学習塾」をそれぞれ週1回開設し、学習機会を増やす環境を整えている。